

平成20年度 4号
2008年 7月1日
住み良い町づくりへ
ご意見・情報*をお寄せください

元気！緑 & 芥見東 自治会だより

発行
岐阜市 芥見東自治会連合会
芥見東まちづくり協議会
発行人:多田 喜代則
編集:自治会連合会文化部会

コミバスって“こんなに便利とは！”体験記

—桐が丘支部の方より

待望のみどりっこバスに乗せてもらった。乗ってみると素晴らしい。正直、ぐるぐる回って時間が…と思っていたが、どうしてどうして、以前の実験とは全く違う。

まずダイヤ編成にどれだけ苦勞されたかよく解りました。バローや生協、三心への乗り入れは運転手さんの苦勞を思うと、ほんとに頭が下がります。

初体験は、桐が丘(13:46)⇒三心(14:01)で買い物し、携帯屋で所用、その足でバローまで徒歩(これが忙しかったが)バロー(14:40)⇒桐が丘北(14:46)と、1時間で帰ってきた。実に快適なバス。こんな便利なコミバスはないと思うほど貴重な体験でした。

認知度はまだ低いようですが、みなさんでみどりっこバスを盛り立てていくようにしなければとつくづく感じた次第です。ヘルパー、運転手の方は大変気配りしてくださっています。さあ、みんなで乗りましょう。□■

コミバスとは コミュニケーションが弾むバス

—芥見東自治会連合会理事・山田 正行

先日の中日紙に『車愛する国民変身』の見出しで、「ドイツ人は車を愛している、でも街中で見る車は決して美しくない。ほとんど乗らないから。ガソリンは高いし、環境意識や健康の面でも…と理由は色々ある。ドイツ人は合理的だからね」という記事でした。

今日午前中、私は、わが町を走り出したみどりっこバスにヘルパーとして乗りました。まず感じたのが、皆さん楽しそう、嬉しそうで、とにかく明るく、朗らか。気軽に話が弾む。また、身体が不自由な、あるいは高齢な方が乗ってみると自然に席を譲られる。

このコミバスは、路線バスと違ってもう明るく会話の弾むバス、コミュニティバスというよりコミュニケーションバスだと思い知りました。

ガソリンも180円の声が聞かれるこのごろ、貴方も合理的なみどりっこバスを体感してみてください。□■



6月1日
細江市長も迎え出発式



こんなに利用されました！
(25日まで)累計4924人
1日平均:197人←目標100人

東小児童に見送られ



スマイル



触れ合い



混みバス



ヘルパー



迷惑路駐…

みどりっこバス サポーター・アンケートから

みどりっこバスサポーターさん(割安回数券購入者)からの多くのご意見をかいつまんで紹介します:

- ・病院やスーパーの玄関先まで着けてくれるため、道路を横断する必要がなくてうれしい。
- ・スーパーの中まで入ると運行時間がかかってしまう。
- ・団地のすみずみまで周ってくれてありがたい。
- ・幼稚園児の送り・迎えにも利用できてうれしい。
- ・重い荷物を持つのが階段は辛かったが解消された。
- ・今まで主人やクルマに頼っていたが、解放された。

- ・想像以上に快適で和気あいあい、会話が弾みます。
- ・車内の会話が楽しい！井戸端会議の復活です。
- ・路線図・時刻表の縮小版(携帯用)があったら…。
- ・乗降ステップが低いので乗りやすく助かります。
- ・路上駐車により運行に支障が生じている。
- ・バス停や車内からの多くの眼が防犯にも役立つ。
- ・時間も思ったほどかからず、助かります。そして、ぜひ続けてほしい！という声が圧倒的でした。
- ・現金の乗客からは「おじいちゃん、私がお金払うから一緒に」と孫にせがまれ、団地巡りしています！

*「こうしては？」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

配布

大洞	4-81
東山	3-55
北山	38-368
コモン北	6-87
桜台	23-333
桜市	41-313
柏台	31-339
柏市	26-219
桐丘	23-199
桐市	6-45
紅葉	21-267
紅市	16-142
桜2P	1-23
計	239
/	2471

防災訓練 中学生といっしょになって

—赤十字奉仕団芥見東分団・服部 美鈴さん

私たちは藍川東中学校で救護訓練を担当しました。地震発生の放送で、生徒たちは非常階段から速やかに校庭に避難。生徒は頭と腕に負傷した役になり、PTAのお母さん達も交え、三角巾の使い方を体験してもらいました。担架搬送も声掛け合って無事卒業。

生徒たちは興味を持って真剣にやってくれました。実際に災害が発生した時、この子たちが手を貸してくれることになると思うととても頼もしくなりました。

今後も、多くの皆様の参加を願い、また、赤十字と一緒に活動していただける方の入団をお待ちします。

藍川東中生諸君からの報告

多くの人が避難経路を覚えられてよかった。救護訓練では、三角巾を使って頭や腕の怪我を処置する方法を実地で覚えることができた。いつ地震が起きても動けるよう、家族で話し合っって避難先も決めておき、冷静に、そしてパニックにならずに行動したい。□■

6月8日 藍川東中での防災訓練—全地区で1300人参加



三角巾訓練



地震車体験

(写真:森下教頭先生)

大地震頻発！ 震災について思うこと

—北山支部長・阪野 基道さん

中国・四川大地震は、未曾有の大惨事となり、連日の報道に阪神大震災を重ね合わせていたら、こんどは岩手・宮城地震が発生。幸い、私たちの住む地では、大きな災害もないが、いったん大災害に見舞われたとき、私たちはどのような行動を取るのだろうか。

大地震やサイクロンなどで被災した後、「救援物資を奪い合う姿も」などというニュースが流れることがある。被災当初の混乱やパニックは人を極限にまで追い込んでしまうのかもしれない。ぜひ避けたいことだが。

阪神大震災では、そのような混乱からいち早く立ち直ったのは、自治会活動が活発な地域だったそうだ。住民の安否確認や救出作業、道路復旧や救援物資の配給、情報の伝達、不安の解消など、地域の組織だった動きがそうした混乱を最小限に抑えたという。

その意味でも、日ごろの自治会活動が、万一のときには大きな役割を果たすことを心しておきたい。□■

山田川の蛍 やわらかな光に子どもたちは

—大洞幼稚園さんより

大洞幼稚園では恒例の『ホタルを観る会』を6月9日開きました。親ホタルのこと、雄や雌の違いなどの説明を聞き、子ども達は、興味津々、好奇心一杯！

暗くなり始めた山田川周辺へ出かけて行きました。「あっ！光った」「あそこにも」「ここにも」と暗くなるにつれホタルの光が増えて、子ども達の歓声も大きくなりました。やわらかなほんのりとした光が、子ども達の心に優しく入っていったことと思います。

「子どもと手をつないで歩いてくれる保護者が多くていいなあ」と、ホタルの感動だけでなく、親子の触れ合いという貴重な時間をいただきました。

夜の引率にたくさんの

皆様のお力添えもあり、心より感謝しております。ありがとうございました。

これがおとうさんホタル。こっちはあかさんホタル見えるかな？



ホタルも人も 住みよいまちに！

—紅葉が丘支部の方より

今年はどうか…そんな思いで夜の散歩に出かけました。皆さんはこんな近くでホタルが見られるのをご存じですか。私が知ったのは入居後4年目でした。

小学5年の息子が夏休み毎日のように学校へいくため、不思議に思い付いていくと、カワニナ(幼虫の餌)を育てるタライの水をセッセと入れ換えていました。

そして次の6月にはすばらしい数のホタルの乱舞！足下から見上げると、大きな木がクリスマスツリーのようでした。あれから11年、小中学生の山田川清掃もあり、ホタルも住みやすくなったのでしょうか。

アッいました！今年も光の舞に時を忘れます。そして来年もきっと…。みどりっこバスも走り出し、この大洞の自然と共に人も蛍も住みやすくなることを願います。

まちづくりの恩人 宮地新一さんを悼む

—紅葉が丘支部・杉山 利久さん

今、みどりっこバスが地域の元気を乗せて走っています。実はこのバスの誕生を一日千秋の想いで楽しみにしておられた方がみえます。民生委員を18年も務めるなど住みよい地域を先導されてきた宮地さんです。でも、5月7日、バス誕生を目前に逝去されました。次号でそのまちづくりの足跡を辿りたいと思います。